

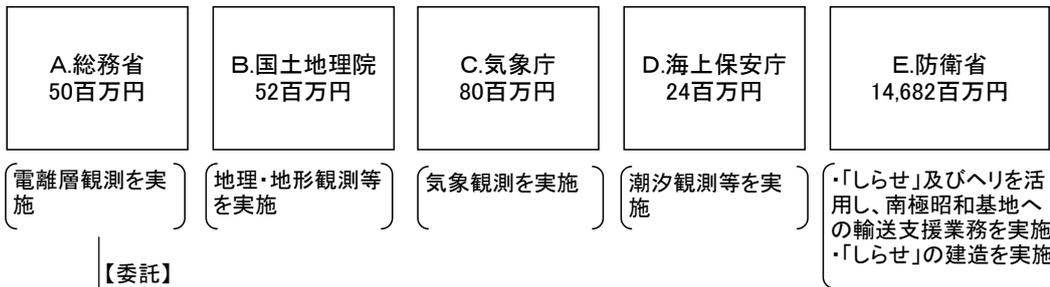
行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	南極地域観測事業等に必要経費		事業開始年度	昭和31年度		作成責任者
担当部局庁	研究開発局		担当課室	海洋地球課		海洋地球課長 堀内 義規
会計区分	一般会計		上位政策	環境・海洋分野の研究開発の重点的推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・南極地域観測への参加及び南極地域観測統合推進本部の設置について(昭和30年11月4日閣議決定) ・南極地域観測第Ⅶ期計画(H18～21) ・南極地域観測第Ⅷ期6か年計画(H22～27) 		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、地球温暖化をはじめ地球規模での環境問題が拡大する中、極域特有の気候、海洋、雪氷等の観測データは、地球規模での気候・環境変動のメカニズムを解明するために極めて貴重なものであり、科学的観測の継続は国際的貢献に繋がることから、地球環境変動の解明に資する本事業を継続して実施する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	南極観測船「しらせ」による南極地域(昭和基地)への観測隊員・物資等の輸送を実施し、そのために必要な「しらせ」及び南極輸送支援ヘリコプターの保守・整備等を着実に実施した。また、南極地域観測計画に基づき、地球温暖化など地球環境変動の解明に向け各分野における地球の諸現象に関する研究・観測を継続して実施した。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・南極地域観測隊員の派遣に係る旅費・手当等を支給、「しらせ」による南極地域への隊員・物資等の輸送を実施・各省庁における定常観測を実施、「しらせ」の保守・整備等を実施、南極輸送支援ヘリコプターの保守・整備等を実施、南極地域観測統合推進本部関係委員会等を開催、南極輸送支援ヘリコプター(2号機)を建造(H18～21)、「しらせ」を建造(H17～21) 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	13,751	14,501	15,687	3,510	3,440
	執行額	13,594	13,809	14,950		
	執行率	98.9%	95.2%	95.3%		
	総事業費(執行ベース)	13,751	14,501	15,687		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	移替後の各省庁における執行状況については、決算報告受け確認を行っている。また、事業の実施状況については、南極地域観測統合推進本部に設置された各委員会等において報告を受け、状況を把握し、翌年度の観測計画等の策定に反映させている。 <ul style="list-style-type: none"> ・南極地域観測統合推進本部観測事業計画検討委員会(観測状況の把握) ・南極地域観測統合推進本部南極輸送問題調査会議(輸送状況の把握) 				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> ・H21に完成した新しい「しらせ」の氷海航行試験を通じて得られた知見等を分析・把握し、翌年度の観測・輸送計画等の策定に反映させること。 ・南極輸送支援ヘリコプターの整備用部品については、南極地域での運用状況等を分析し、緊急性など優先順位等を踏まえ、最適な計画のもとに整備すること。 ・第Ⅷ期南極地域観測実施計画に基づき地球温暖化等に関する研究観測の推進について各省庁等との連携を強化するとともに、研究成果の発信を進めること。 				
予算・監視・所効見率化	1. 事業評価の観点:この事業は、関係省庁への予算の移し替えを行いつつ、南極地域における科学的観測を行う長期継続事業である。 2. 所見:20年以上続く長期継続事業であるが、閣議決定との関係及び他省庁との役割分担の関係で必要性が認められる。関係省庁への移し替えも含めて、これまでの事業の成果を適切に検証するとともに、関係省庁間のさらなる連携による効率化を図るなど、予算を縮減すべきである。					
補記	執行額には移替後の他省庁分も含まれており、為替余剰の影響等も含まれる					

文部科学省 14,950百万円

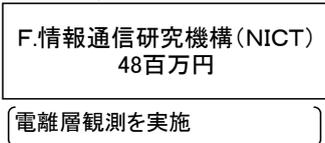
南極地域観測統合推進本部事務局(各省庁等との連絡調整、各種会議の開催、予算要求等を実施し事業を推進)

諸謝金	7.5百万円	} を含む
職員旅費	0.4百万円	
外国旅費	13.8百万円	
委員等旅費	1.5百万円	
外来研究員等旅費	14.2百万円	
庁費	23.5百万円	
拠出金	1.2百万円	

【移替】



【委託】



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.総務省			E.防衛省		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	観測隊員派遣に係る諸手当	2	人件費	「しらせ」乗組員に係る諸手当	92
委託費	電離層の観測に係る経費	48	その他	南極輸送支援機(ヘリ)購入費	2,656
				航空機及船舶運航費(「しらせ」の運航、ヘリ整備用部品等に係る経費)	2,309
				職員旅費、外国旅費、糧食費等	101
				「しらせ」建造費	9,524
計		50	計		14,682
B.国土地理院			F.情報通信研究機構		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	観測隊員派遣に係る諸手当	0.2	委託費	電離層観測に係る経費	48
庁費	地理・地形等の観測に係る経費	52			
計		52	計		48
C.気象庁			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	観測隊員派遣に係る諸手当	7			
庁費	気象観測に係る経費	73			
計		80	計		0
D.海上保安庁			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	観測隊員派遣に係る諸手当	0.3			
庁費	潮汐等の観測に係る経費	24			
計		24	計		0